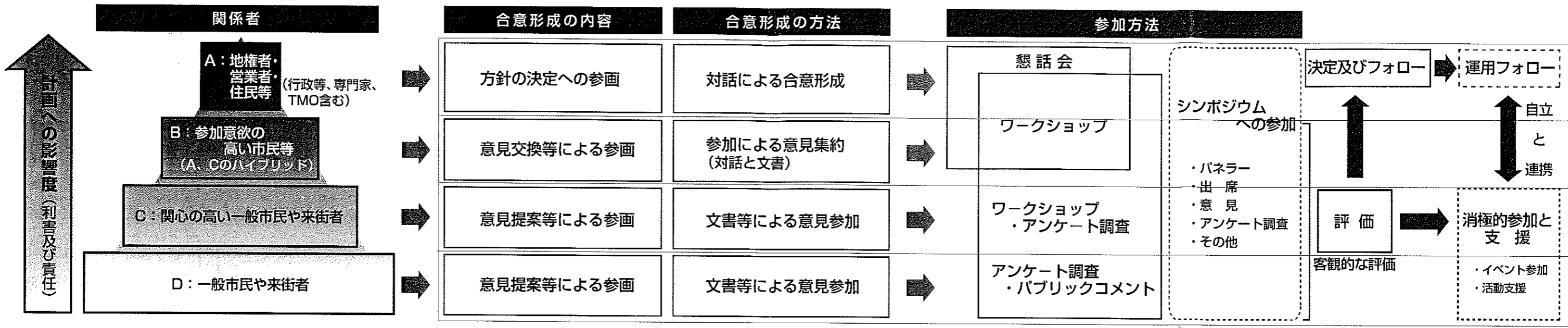


◆ 市民合意形成の手法とプロセス

市民の共感を得た計画とするため、どのように市民意向を把握しようとするか。

合意形成について



1. 方針の決定者は誰か？

決定者	会 員	内 容	進め方
懇話会	・学識経験者(会長) ・地権者等 ・行政(事務局) ・TMO ・一般市民(公募) 計10~20名	① 計画(基本計画) ② コンセプト ③ 役割分担 (実施方法)	・会長の選任(事務局+行政) ※ 会長:実務経験のある大学関係者、一般委員の選任 ・事務局の補助としてNPOの参加 ※ 民間企業、行政の事業関係に経験のある者による会議の支援 ・全て公開 (傍聴、議事録の開示(HP)他)

2. 意見の集約はどのように行うのか？

- ◆ 意見集約は、対話と文書
- ◆ 計画の影響度の高い人(A・B)については、対話
- ◆ その他(C・D)については、アンケート、ヒアリング、パブリックコメントによる意見集約

3. 方針の評価はどのようにするのか？

- ◆ 参加を促すために公表(市報、HP、商工会議所、TMO他)
 - ① 懇話会の活動内容
 - ② ワークショップの開催とその結果
 - ③ アンケート調査の依頼とその結果
 - ④ シンポジウムの開催とその結果
 - ⑤ パブリックコメントの開催とその結果
 - ⑥ 方針の決定と今後の予定
- ◆ 評価は、B、C、Dの意見を客観的に判断する(来街者、顧客や意識の高い人達)
 - ・方法: アンケート、ヒアリング調査によって満足度調査をする

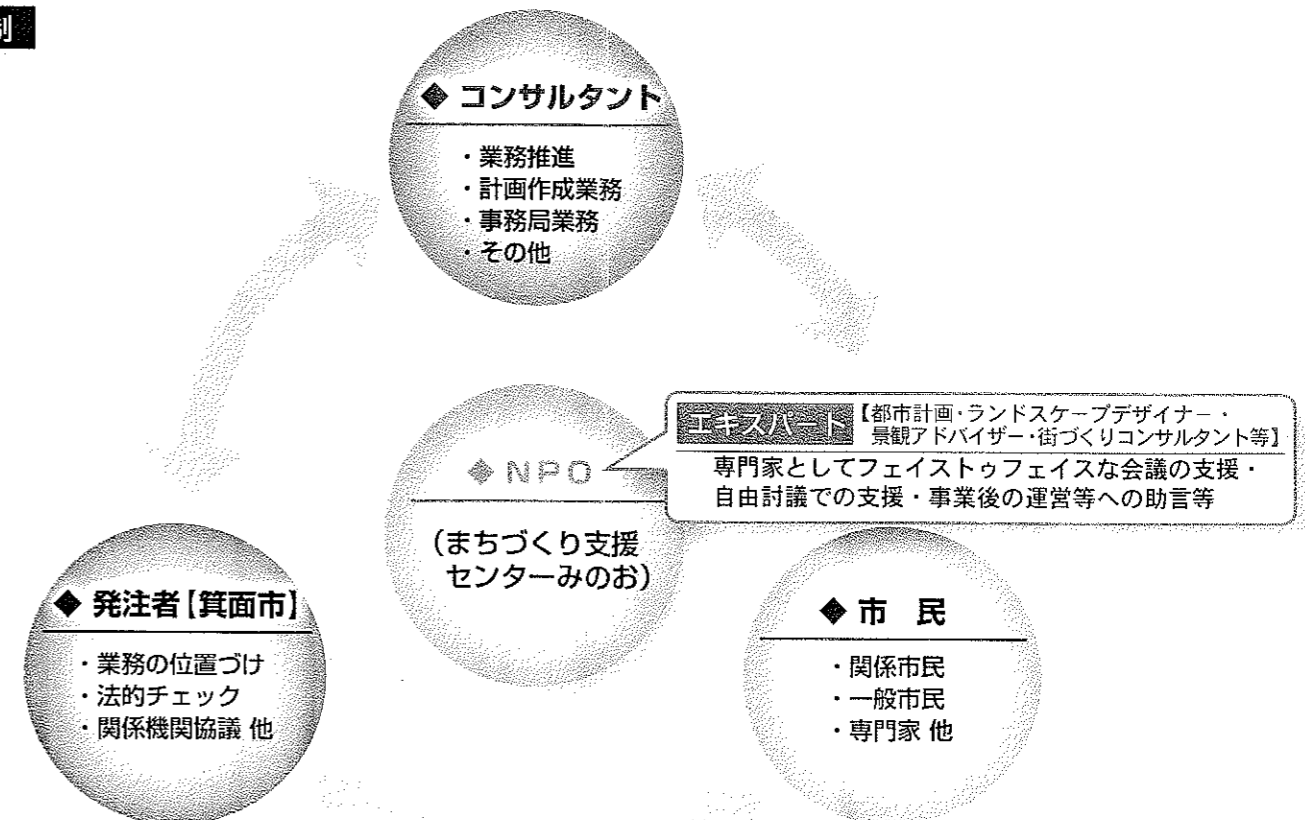
項目毎に数値化する+コメント

《例》

項目	現 状 (N=Now)	計 画 案 (F=Future)
景観	満足 評価 あまり満足しない 全く満足しない
...	満足 評価 あまり満足しない 全く満足しない
点数	○ 点	○ 点

回答を4段階に分け数値化にする
 満足 3点
 評価 2点
 あまり満足しない 1点
 全く満足しない 0点
 $\frac{F}{N} = 1.0$ 以上

4. 執行体制

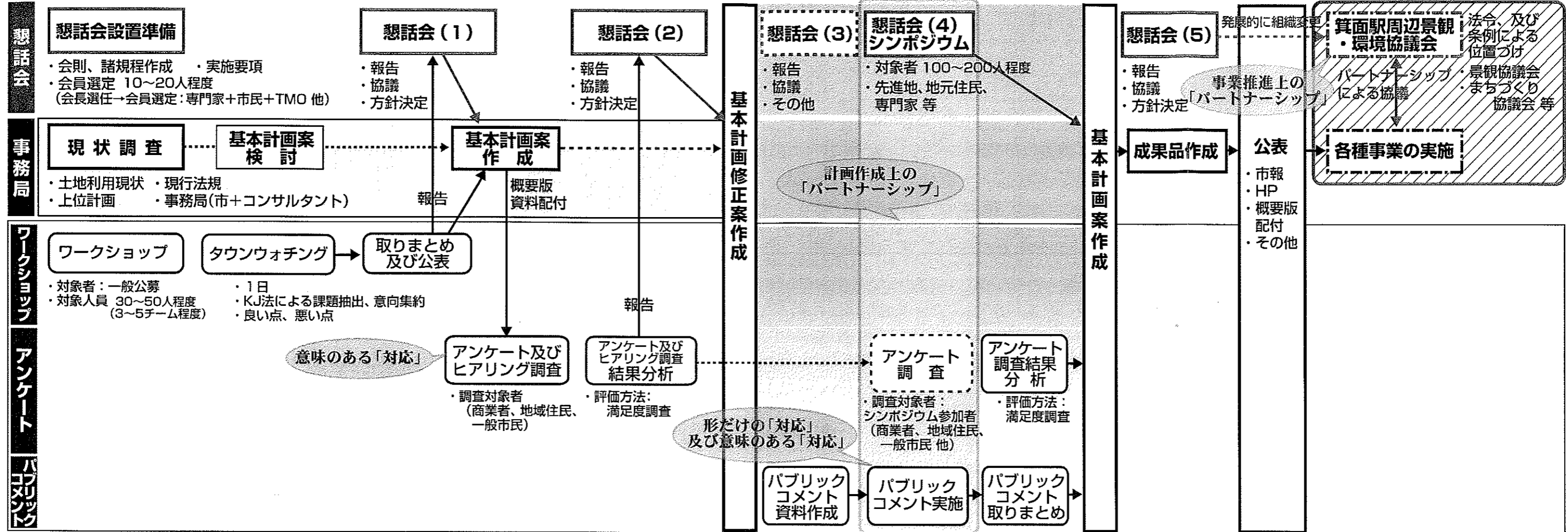


◆ 業務の進め方と着眼点

業務作業を進めるにあたり、何に主眼を置きどのように進めて行こうと考えるか。

業務の進め方

1. 業務フロー



2. 基本計画作成と事業実施への考え方

(1) 景観と環境に配慮した計画を目指す

- ・箕面市の中心地に相応しい景観の形成（道路、駅前広場、建築物、看板、色彩他）
- ・箕面市は自然環境の豊かな地域であり、緑環境、水環境と調和した市街地の形成を目指す
- ・景観という視点から、地域の活性化を目指す

(2) 意思決定は誰がするのか明確にする

- ・基本計画案を確実に実践に移すためには、誰が方針を決定したのか明確にする必要がある
- ・計画案に関わった人達は、計画への愛着と責任感が生まれる
- ・事業が実施される時には、支援が得られやすい

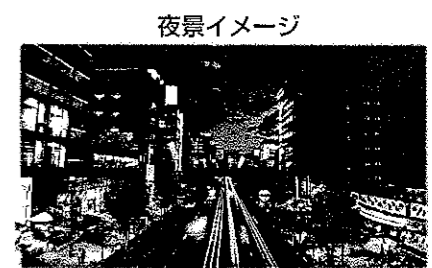
(3) 実施主体とチェック体制を明確にする

- ・計画案を実施する際は、各専門分野で縦割りで事業化せざるを得ない
- ・各種事業のゆるやかな「SEE」が必要である
- ・ハード事業とソフト事業の連携が不可欠（TMO等）であり、各々が相互にチェック機能を有する必要がある

● 道路等（シンボルロード等）の景観現状



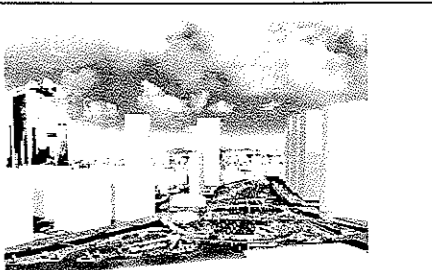
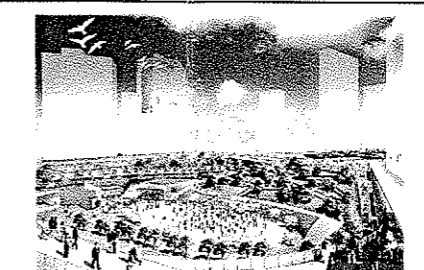
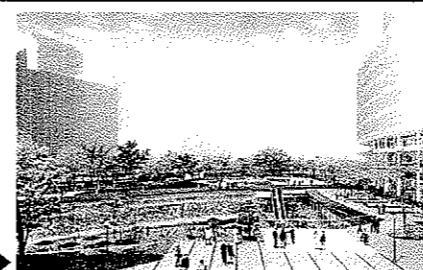
整備後



● 都心の景観のあり方（賑わい・水・緑）

イメージ

出典：大阪市HP



● 緑環境・水環境 現状（当地区）



整備後

